

令和5年度活動の総括

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

(はじめに)

令和5年度は、5月に新型コロナウイルスの感染法上の取扱いが2類相当から5類感染症に移行されたことに伴い、陽性者及び濃厚接触者の外出自粛が求められなくなったため、社会経済活動がコロナ前の活況を取り戻してきた感のある1年でした。しかし一方で、前年から続くエネルギー・原材料の価格高騰や円安に起因する物価高、さらには慢性的な人手不足などに対する改善の兆しが見えないなど、企業を取巻く経営環境の不透明感が払しょく出来ない状況が続いています。

このような情勢の中、社会保険労務士制度は制度創設55周年を迎え、全国社会保険労務士会連合会では、「士業としての使命を再確認し、事業の新たな発展を追求するとともに、国民に寄り添う士業として一層信頼される制度となるべく、各種事業を推進する」として、デジタル化の継続的推進をはじめとする様々な取り組みを行っています。

本会においては、連合会の取組や中部地域協議会の活動と連携しながら、次の7項目を重点目標に掲げ、積極的に事業を遂行してきました。会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

1. 行政手続きのデジタル化への対応について

電子申請を始めとした行政機関等のデジタル化に対応すべく、令和4年度の続編として、36協定や助成金など、新たなテーマで会員に対する電子申請推進の動画配信によるサポートを行いました。

2. 倫理関係について

過年度の倫理研修未受講者に対して倫理研修を受講するよう通知し、倫理研修未受講者の減少に努めました。又、助成金不正受給に関連する綱紀事案が例年との比較で多かったことを受け、静岡労働局との連携を図るとともに、本会としてそれら事案に対して会則に則り、厳正に対処致しました。

3. 研修について

従来の特別研修会及び必須研修会等のほか、エムケイシステム社のランサムウェア感染を契機に、従来以上にセキュリティ対策見直しの重要性が高まっている状況を踏まえ、セキュリティ対策に重点を当てたDX研修を緊急開催致しました。尚、これら研修の一部は、デジタルツールを活用し、研修開催後の一定期間、ホームページ上で視聴できる方式と致しました。さらに、県会各支部主催で開催された研修の共有化や中部地域協議会と連携した研修の共有化を行いました。

4. 業務開発について

民間企業主導型保育事業労務監査については、連合会と情報交換しつつ、予定通り実施しました。また、働き方改革推進支援事業(都道府県センター事業)については、「働き方改革」推進の担い手は社会保険労務士であるとの認識の下、令和6年2月、静岡労働局へ入札致しましたが、落札することは出来ませんでした。

5. 広報関係について

ホームページのリニューアルについて、「ホームページプロジェクト」を設置し、対外広報に加えて会員サービスの視点からも検討をすすめました。しかし、連合会が令和6年度運用

開始予定で進めている会員マイページの進捗状況を見極めながら対処すべきとの理由から、令和5年度のリニューアルは見送ることとし、次年度以降のリニューアル実現に向け、外部の専門家を交えた方向性の再検討を実施致しました。さらに本会の対外的情報発信として、ラジオ広告によるPRを実施しました。

6. 県会業務の機能強化について

会員サポートのさらなる充実化や事務局職員の働きがい醸成を追求する「事務局働きがいプロジェクト」、県会がどうあるべきかを追求する「県会あるべき姿プロジェクト」をそれぞれ設置し、検討を進めてきました。何れのプロジェクトにおいても、それぞれアンケートを実施し、その結果等から浮かび上がった課題等について、中間報告書又は報告書という形でとりまとめ、発表致しました。

7. 行政機関及び関係団体との交流

静岡労働局及び連合静岡とは対面、神奈川県会とはWEBによる意見交換会を開催し、静岡県専門事業者団体連絡協議会及び静岡県士業種連絡交流会が主催する無料合同相談会へ参加するなど、交流を致しました。さらに、静岡県社会保険労務士政治連盟との連携については、12月の理事会後、4年ぶりに懇親会を開催する等、さらなる連携強化に努めました。

1. 会運営の状況

・理事会	6回	・業務委員会	1回
・常任理事会	12回	・業務研究部会	6回
・三役会	13回	・研修部会	5回
・支部長会	0回	・非常時災害対策委員会	5回
・監査会	3回	・苦情処理調整委員会	1回
・総務委員会	2回	・綱紀委員会	3回
・総務部会	4回	・業務監査委員会	1回
・財務部会	5回	・総合労働相談センター運営委員会	8回
・厚生部会	4回	・社労士会労働紛争解決センター静岡運営委員会	5回
・広報委員会	2回	・年金相談センター運営委員会	1回
・デジタル部会	4回	・年金相談に係る運営委員会	4回
・広報部会	5回		

2. 各委員会及び部会

(1) 総務委員会

本会の効率的な組織運営、適正な財務管理及び友好的な懇親行事を実施するため、総務・財務・厚生各部会の円滑な運営を図り、意見総括を行った。

① 総務部会

イ. 会則・規程等の見直しを行った。

- ・ハラスメント防止対策諸規程の整備
- ・相談員及び講師に支給する報酬等の基準の改定
- ・経理規程の見直し、クレジットカード取扱規程新規制定の検討

ロ. 諸規程集について、県会ホームページの会員ページへ最新版が公開されているか確認の徹底を図った。

ハ. 「本会の効率的な組織運営」のための県会と支部のあり方について、また組織の最適化についての検討はあるべき姿プロジェクトの報告を待ち対応することとした。

② 財務部会

イ. 適正な予算編成とその執行状況について、逐次精査した。

ロ. 会費の納付状況を確認し、滞納者については会費滞納者対応マニュアルに則って対応した。

ハ. 経理規程の見直し、クレジットカード取扱規程の新規制定について協議をした。

ニ. ホームページ改修費用特別会計の設置について協議をした。

③ 厚生部会

会員に対する厚生行事を開催した。

- ・第26回ボウリング大会

令和5年 7月29日(土) 於：プラザアピア静岡 89名

- ・第26回グラウンドゴルフ大会

令和5年11月11日(土) 於：藤枝総合運動公園 90名

(2) 広報委員会

広報部会、デジタル部会及びホームページプロジェクトの活動をサポートするとともに、委員会として以下の活動を実施した。

- イ. 役員改選に伴い、Webex 及びチャットワークの登録を変更した。
- ロ. チャットワークのビジネスプラン契約を更新した。
- ハ. 会員の不適切情報発信ホームページについて、所属支部を通して本人へ修正を依頼し、その結果について事務局を通じて連合会へ報告した。
- ニ. 連合会、中地協の広報、デジタル化関連の関係会合への参加と関係部会へ伝達を行った。
- ホ. 県会メーリングリスト未登録者への対応方法を検討した。
- ヘ. 県会ホームページに「理事会だより」を掲載した。

① デジタル部会

- イ. 開業社会保険労務士の電子申請をサポートする体制として、チャットワークを利用した質問用チャットの設置を計画したが、チャットワークの仕様変更のため無料版の機能では過去ログが見られないなど想定していたサポート体制が実現できなくなり、他のツールも検討したが今年度実施は見送りとした。
- ロ. 会員にDX研修の機会を提供し、会員が今後も押し寄せてくるデジタル化に迅速に対応出来るようにする為、以下の事業を実施した。
 - ・緊急セキュリティ研修の実施
 - ・サイバーセキュリティeラーニング研修の実施
 - ・電子申請動画（特開金、36協定）の作成・公開
- ハ. 県会ホームページサーバーの確認再構築から、会員ページのセキュリティ強化、一般の方が見て興味が湧くようなホームページを目指し、また、県会事業の広報活動活性化のためのホームページリニューアル事業を行った。部会単独ではなくプロジェクトを設置し、大幅リニューアルのための仕様書の作成、ソフトベンダーの入札を実施した。
- ニ. コロナ禍を経ても、今後もWEB会議は必須として、種々のシステムを検討の結果、現行のWebexの契約を更新した。

② 広報部会

- イ. ワードプレスによるブログ形式の「会報しずおか」を発行した。
- ロ. 社会貢献活動、情報発信、WEB会議等の開催時に使用するバナースタンドを制作した。
- ハ. 出前授業事業推進のため、県内各高等学校および関係機関への案内を実施した。
- ニ. 出前授業の講師における技術向上等を実現すべく、研修会を実施した。
- ホ. グーグル、ヤフー両検索エンジン画面にWEB（リスティング）広告を掲載した。
- ヘ. 静岡エフエム放送（K-MIX）において、無料相談会、資格PRのラジオ広告を実施した。

(3) 業務委員会

- イ. 各部会とも部会長を中心に計画実行に向けて活発な検討を行い取り組んだ。所掌する研修会実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により会場開催、オンライン開催又はハイブリット開催を選択することができ、日程調整が以前よりスムーズになり計画された事業を遂行することができた。
- ロ. 会員への相談員・講師に支給する報酬等について適切・妥当な内容となっているか調査、検討を行った。

① 業務研究部会

イ. 労働条件審査（自治体等が関連する審査）と社労士診断認証制度（私企業を対象とする認証）を研究テーマとした。

労働条件審査について、支部の取り組み状況を過去の支部長にインタビューする等の手法で確認した。三島支部では平成27年より三島市と「三島市指定管理者に関する協定書」を締結し、定期的に指定管理者を対象に労働条件審査を実施していることを確認し、一方、沼津、清水、島田の各支部では労働条件審査には取り組んでいないことを確認した。

社労士診断認証制度について、事業内容の詳細について調べた。静岡県内での「職場環境改善宣言企業」「経営労務診断実施企業」「経営労務診断適合企業」の各認証マークの取得状況を確認した。ともに社労士の仕事として有望であると判断したため、以後は自治体向け、私企業向けのプレゼンテーション資料の作成を研究することとした。

ロ. 静岡県から、県の指定管理者に対する労働関係法令順守状況確認のため使用する点検マニュアル作成の依頼を受け、県と内容のすり合わせを行いながら、チェックシートと点検マニュアルの作成を進めている。県との橋渡しを頂いた政連の皆様に感謝申し上げたい。

② 研修部会

イ. 特別研修会を開催した。

令和5年 6月 1日（木）～ 6月30日（金） オンデマンド配信 274名
〔再配信：令和5年7月12日（水）～令和5年7月31日（月）〕

テーマ「労働トラブルによる裁判例を踏まえた労務関係書式の作り方とその考え方」

講師 寺前総合法律事務所 弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行 氏

ロ. 必須研修会を開催した。

令和5年11月 1日（水）～ 11月30日（木） オンデマンド配信 354名

テーマ「社労士として知っておきたい『2024年問題』が物流業界全体に与える影響」

講師 社会保険労務士・行政書士 栗田 和博 氏（静岡支部会員）

ハ. 倫理研修会を開催した。

令和6年 2月 1日（木）～ 3月31日（日） eラーニング 256名

テーマ「倫理研修実施の意義等について」「社労士に求められる職業倫理の解説」

「事例（設例問題）の解説」

ニ. 新入会員指導研修会を開催した。

令和6年 2月16日（金）～ 2月17日（土）

開催場所 もくせい会館 1日目：39名、2日目：42名

ホ. 中部地域協議会主催の研修会に参加した。

・労務管理研修会（愛知会担当） 令和5年10月26日（木）

開催場所 名鉄グランドホテル 21名、オンデマンド配信 44名

テーマ「シニア人材の戦力化と人事管理」

講師 学習院大学名誉教授 今野 浩一郎 氏

・東海4県特別研修会（岐阜会担当） 令和6年 2月16日（金）

開催場所 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口 15名、オンデマンド配信中

テーマ「ジョブ型雇用と労働市場開拓」

講師 労働政策研究・研修機構労働政策研究所長 濱口 桂一郎 氏

- ・北陸3県特別研修会（石川会担当） 令和6年 3月 1日（金）
開催場所 金沢ニューグランドホテル 3名、オンデマンド配信中
テーマ 「地方における労働紛争のリアル」
講師 弁護士法人クオリティ・ワン 代表社員 小倉 悠治 氏
- ・中部地区協議会を構成する7県の研修動画共有
各会主催の研修動画を共有し、会員に対して効果的な研修機会の提供を行った。本会からは特別研修会の動画を共有動画として提供し、他県会会員が308名視聴した。
- 【愛知会】テーマ「社会保険労務士を取り巻く環境変化とその使命」
講師 全国社会保険労務士会連合会会長 大野 実 氏
東京大学社会科学研究所教授 水町 勇一郎 氏 44名
- 【岐阜会】テーマ「労使トラブル円満解決のための実務対応と就業規則」
講師 弁護士法人 咲くやこの花法律事務所 西川 暢春 氏 91名
- 【三重会】テーマ「地域社会における社会保険労務士事務所のあり方とこれからについて」
講師 リソラ社会保険労務士法人代表 宇佐美 理世 氏 55名
- 【石川会】テーマ「なぜ今の若者は人前でほめられたくないのか？」
『いい子症候群の若者たち』の実像
講師 金沢大学融合研究域融合科学系教授 金間 大介 氏 50名
- 【富山会】テーマ「最近相談がある問題社員等について」
講師 杜若経営法律事務所 パートナー弁護士 岸田 鑑彦 氏 111名
- 【福井会】テーマ「LGBTQに関する労務管理の実務」
講師 小田瑠依社会保険労務士事務所 オフィスR 小田 瑠依 氏 33名

（４）非常時災害対策委員会

- イ．非常時災害対策委員会規程、非常時災害対策本部設置マニュアルの改定案を検討した。
- ロ．災害連絡カードの導入を検討した。
- ハ．県会ホームページ改修に伴い、災害時連絡掲示板の導入を検討した。
- ニ．県会事務局のBCPの導入を検討した。

（５）苦情処理調整委員会

3件の苦情が寄せられた。

解決まで短期の案件は1か月、長期の案件で2か月を要したが、年度内で決着を見た。

（６）綱紀委員会

- イ．令和5年7月14日付静社労士第43号に基づく会長からの諮問に対し、8月7日綱紀委員会を経て、8月16日会長へ審議結果を答申した。
- ロ．令和5年10月18日付静社労士第69号に基づく会長からの諮問に対し、12月4日綱紀委員会を経て、12月5日会長へ審議結果を答申した。
- ハ．令和6年3月8日静岡労働局において実施された懲戒処分に係る公開による会員2名に対する聴聞会を傍聴した。

（７）業務監察委員会

- イ．令和5年6月8日（木）苦情処理調整委員会と合同で委員会を開催し、委員会の役割の確認及び委員長と副委員長の選任を行った。

ロ. 連合会業務監察システムに掲載の5業者に対し調査を行った。

(8) 総合労働相談センター

イ. センター会議を3回、運営委員会を5回開催した。

ロ. 相談員の資質向上及び次年度相談員の登録のための研修会を実施し、併せて次年度の相談員の登録を行った。

・労働相談員登録説明会

令和5年11月20日(月) WEB開催 労働相談員登録希望者30名

・労働相談員基礎研修会(必修)

令和6年1月20日(土) もくせい会館 39名

テーマ 「労働相談の現状と留意事項」「課題ロールプレイ」「ワークショップ」

「プライバシー権への配慮」 講師 弁護士 松田 康太郎 氏

ハ. 毎週1回金曜日に、静岡県社会保険労務士会館で定例の労働相談会を実施した。

・令和5年度 労働相談員登録者数 40名

・労働相談件数 126件 派遣人数延 44名

ニ. 関係団体へ労働相談員を派遣した。

・静岡県専門事業者団体連絡協議会「くらしの無料合同相談会」

令和5年11月25日(土) 静岡商工会議所 1名

・静岡県土業種連絡交流会「無料合同相談会」

令和6年2月3日(土) 東部会場：沼津労政会館 1名

中部会場：静岡県司法書士会館 1名

西部会場：浜松市市民協働センター 1名

ホ. ADRセンター、年金相談センターと合同連携会議を実施した。

ヘ. ADRセンターと連携し、利用促進のための次年度相談会チラシ作成を行った。

(9) 社労士会労働紛争解決センター静岡運営委員会

イ. 運営委員会を5回開催した。

ロ. あっせん基礎研修会を開催した。

令和5年8月31日(木) もくせい会館 あっせん委員候補者13名

ハ. あっせん実務研修会を開催した。

令和5年10月20日(金) もくせい会館 あっせん委員候補者11名

ニ. あっせん実績 申立件数6件 和解2件 取り下げ1件 不応諾3件

ホ. 各種関係機関の連絡協議会等へ参加した。

・静岡労働局個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会 令和5年7月10日(月)

・浜松支部労働相談員協議会視察 令和5年7月19日(水)

・新入会員指導研修会講師派遣 令和6年2月16日(金)

ヘ. その他

・担当事務局職員の退職に伴う引継ぎ業務 令和5年7月5日(水)

・3センター連携合同会議 令和5年12月12日(火)

(10) 年金相談センター

イ. 相談員の資質向上及び次年度相談員の登録のための研修会を実施し、併せて次年度の相談員の登録を行った。

・年金相談員研修会

令和6年2月16日（金）～ 令和6年3月31日（日） WEB開催 64名
テーマ

- ・「年金相談センター事業について」 講師 沼津支部 本間 康典 氏
- ・「行政協力における間違いやすい事案」 講師 静岡支部 高林 伸行 氏
- ・障害年金基礎「社会的治癒について」「就労について」講師 東京会 松山 純子 氏
- ・「相談員としての話し方講座」 講師 MC/ナレーター 千野 真紀 氏

令和5年度 年金相談員登録者数 52名（新規登録者14名、既登録者38名）

ロ. 医療機関へ年金相談員を派遣して、年金相談会を年4回開設した。

- ・県立がんセンター 相談件数 25件 派遣人数延 16名
- ・浜松医大附属病院 相談件数 17件 派遣人数延 8名

ハ. 関係団体へ年金相談員を派遣した。

- ・静岡県専門事業者団体連絡協議会「くらしの無料合同相談会」

令和5年11月25日（土） 静岡商工会議所 1名

- ・静岡県士業種連絡交流会「無料合同相談会」

令和6年 2月 3日（土） 東部会場：沼津労政会館 1名

中部会場：静岡県司法書士会館 1名

西部会場：浜松市市民協働センター 1名

ニ. 県会独自の年金相談の機会創出のため、運営委員会を組織し、今後の活動について検討を行った。

3. 業務の改善・資質・能力の向上

（1）倫理規程の遵守

各種会合、研修会等の機会において倫理綱領・会則・諸規程を遵守するよう周知した。

（2）業務知識の涵養

社会保険労務士業務の知識とADRについての能力向上のため、各種研修会の内容充実と参加者の拡大に努めた。

（3）社会保険労務士電子証明書等の取得推進

セコム認証サービス「セコムパスポート for G-I D 社会保険労務士電子証明書」及び「GビズID」への登録・申請の拡大増加に努めた。

（4）業務侵害への対応

社会保険労務士業務の侵害防止については、早期の情報入手に努めた。また、社会保険労務士と事務所従事者にネームプレートの着用徹底を図った。

（5）専門部会への支援・援助

人事労務、安全衛生、年金、特定社労士の4専門部会に補助金を交付し、自主活動の育成に努めた。

4. 社会保険労務士制度の周知宣伝活動

相談会、ラジオ、新聞を使ったパブリシティ広告等、各支部それぞれの計画によって周知

啓発活動を実施した。また、県内の専門事業者団体と協力して合同相談会等を実施した。

さらに、本会ホームページの拡充・更新及び「会報しずおか」を活用した制度の周知を図った。また、有志により静岡マラソンにて会の周知活動を行った。

5. 会則・諸規程の改正

「総合労働相談センター規程」	令和5年	4月	1日	新規制定
「年金相談センター規程」	令和5年	4月	1日	新規制定
「委員会運営細則」	令和5年	4月	1日	一部改正
「相談員及び講師に支給する報酬等の基準」	令和5年	4月	1日	一部改正
「賃金規程」	令和5年	4月	1日	一部改正
「会則」	令和5年	5月	12日	一部改正
「相談員及び講師に支給する報酬等の基準」	令和6年	3月	14日	一部改正
「委員会運営細則」	令和6年	3月	14日	一部改正

6. 社会保険労務士賠償責任保険制度への加入促進

各支部の協力により、年金相談員・労働相談員・新規開業会員を中心に、未加入者に対し加入の勧奨に努めた結果、加入者は547名となった。

7. 会費納入案内及び口座引落とし制度利用の促進

各支部の協力により、口座引落とし制度の未利用者に対し勧奨に努めた結果、令和5年度末の口座振替利用者は1,024名、利用率は94.81%となった。

会費納入について、令和6年度より郵便からメール、ホームページによる案内に変更することを決定し、下期会費納入案内時に周知した。

8. 全国社会保険労務士会連合会に関する事業

(1) 社会保険労務士試験事業への協力

第55回社会保険労務士試験〔令和5年8月27日(日)〕について問い合わせ対応の協力を行った。

(第55回社会保険労務士試験合格状況)

	全 国	静岡会場
申込者数	53,292人	1,228人
受験者数	42,741人	988人
合格者数	2,720人	62人
合 格 率	6.4%	6.3%

(2) 「特定社会保険労務士」の特別研修と試験実施への協力

ADR事業に関連し、全国社会保険労務士会連合会が実施する「紛争解決手続代理業務試験」に伴う特別研修の申込要領と代理業務試験の受験案内配布等の協力を行った。

(3) 街角の年金相談センター事業の受託

全国社会保険労務士会連合会が日本年金機構からの委託を受け、現在全国41都道府県80か所の「街角の年金相談センター」の運営を行っている。本会では、令和5年度も引き続き静岡市、沼津市、浜松市の3か所で業務運営を行った。

① 相談件数

(沼津) 8, 402件、(静岡) 14, 937件、(浜松) 5, 145件

② 研修

街角の年金相談センター職員及び業務委託契約社会保険労務士を対象に、相談の質の向上を図るため、以下の研修を実施した。

イ. 相談研修実施要綱に基づく研修 (月1回以上)

沼津センター	11回実施	職員	延べ33名、社会保険労務士	延べ	77名
静岡センター	11回実施	職員	延べ51名、社会保険労務士	延べ	144名
浜松オフィス	11回実施	職員	延べ21名、社会保険労務士	延べ	146名

ロ. フォローアップ研修 (年1回)

沼津センター	職員	3名、社会保険労務士	7名
静岡センター	職員	5名、社会保険労務士	14名
浜松オフィス	職員	1名、社会保険労務士	13名

ハ. 年金マスター研修

平成22年度～令和5年度	年金相談実務者研修	修了者累計	161名
平成22年度～令和5年度	年金マスター研修	修了者累計	125名

③ 会議

令和5年 12月25日	第1回街角の年金相談センター運営部長会議 (WEB)	2名
令和6年 3月26日	第2回街角の年金相談センター運営部長会議 (東京)	2名

(4) 企業主導型保育施設への労務監査事業の受託

全国社会保険労務士会連合会が公益財団法人児童育成協会からの委託を受け、令和5年度は本会を含む全国20都道府県が事業に参加した。当該事業は、企業主導型保育施設の労務監査を実施し、当該施設の「保育の質」の向上を図ることを目的としている。対象となる保育施設において、保育士等職員に対して「労務環境の構築」や「処遇改善加算」が適切に行われているかについて確認するため、労務監査基準に基づき監査員(社労士)が労務監査を実施し、保育施設に結果を通知するとともに、改善報告の確認等を行った。

① 労務監査

監査実施件数 30施設 監査員数 30名

② 会議

令和5年 4月28日	企業主導型保育施設への労務監査事業説明会 (WEB)	3名
7月 7日	第1回統括グループリーダー会議 (WEB会議)	2名
10月19日	第2回統括グループリーダー会議 (WEB会議)	2名
令和6年 2月27日	第3回統括グループリーダー会議 (WEB会議)	2名

(5) 働き方改革に関する事業

①医師の働き方改革推進事業への協力

医療機関勤務環境評価センターに、サーベヤー3名、審査部会委員1名を推薦した。

②働き方改革推進支援事業（都道府県センター事業）の入札参加（落札せず）

令和6年1月31日	働き方改革推進支援事業にかかる全国説明会（WEB）	3名
2月27日	プレゼンテーション（静岡労働局）	1名

(6) ビジネスと人権に関する事業

令和5年12月1日～2日	社労士の役割研修上級者編（愛知県社労士会館）	2名
令和6年1月18日	ファシリテーター養成研修①（オンデマンド配信）	1名
1月24日	ファシリテーター養成研修②（WEB開催）	1名
1月30日	ファシリテーター養成研修③（社会保険労務士会館）	1名

(7) 中部地域協議会関係

令和5年6月15日	会長会・定例会（富山県）	5名
8月9日	第1回研修事業合同委員会（愛知県）	3名
9月12日	会長会（石川県）	1名
10月17日	第1回広報事業合同委員会（愛知県）	3名
11月15日	会長会・定例会（岐阜県）	7名
12月19日	中部地域連絡会（政連）との合同懇話会（愛知県）	1名
令和6年1月25日	第2回研修事業合同委員会（WEB会議）	2名
2月13日	会長会（静岡県）	1名
2月20日	第2回広報事業合同委員会（WEB会議）	3名
3月12日	事務局長会（静岡県）	1名

(8) その他会議等

令和5年5月31日	第234回理事会（東京商工会議所）	3名
6月29日	会長選挙（霞山会館）	2名
6月29日	第235回理事会（霞山会館）	3名
6月30日	総会（パレスホテル東京）	3名
6月30日	第236回理事会（パレスホテル東京）	2名
9月5日	第237回理事会（パレスホテル東京）	2名
10月10日	第1回倫理委員会（社会保険労務士会館）	1名
10月25日	第1回全国広報担当者会議（WEB会議）	2名
12月22日	第2回研修委員会（社会保険労務士会館）	1名
令和6年1月22日	第238回理事会（パレスホテル東京）	2名
1月22日	令和6年新年会（パレスホテル東京）	2名
2月13日	月刊社労士（都道府県リレー）取材対応	1名
2月14日	第3回研修委員会（WEB会議）	1名
2月19日	第2回倫理委員会（WEB会議）	1名
2月21日	第2回全国広報担当者会議（WEB会議）	2名
3月6日	第239回理事会（ステーションコンファレンス東京）	2名
3月26日	事務局長会及び情報交換会	1名

9. 日本年金機構からの受託業務

イ. 年金事務所等における指定年金相談窓口等を運営した。

(受託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

年金事務所	延配置人数 (人)	相談件数 (件)
三 島	2 8 7	2, 1 3 8
沼 津	2 4 5	1, 9 1 7
富 士	3 3 8	2, 6 6 3
清 水	2 4 3	2, 0 5 6
静 岡	2 4 3	2, 0 6 3
島 田	3 1 7	3, 1 0 9
掛 川	2 8 4	2, 1 9 2
浜松東	3 6 8	2, 7 9 0
浜松西	4 4 3	3, 6 1 1
計	2, 7 6 8	2 2, 5 3 9

ロ. 年金運営委員会を4回開催した。

10. 行政等への協力・連絡・その他対外活動

(1) 静岡労働局関係

イ. 法改正等について会員へ周知した。

ロ. 各種届出の申請に対する指導を行った。

ハ. 静岡労働局の要請に基づき、会員を推薦した。

- ・ 労働関係紛争担当参与 1名
- ・ 静岡紛争調整委員会委員 3名
- ・ 家内労働安全衛生指導員 2名
- ・ 静岡県最低賃金審議会委員 1名
- ・ 静岡地方労働審議会委員 1名
- ・ 雇用保険・年金等アドバイザー 5名
- ・ 雇用保険電子申請アドバイザー 7名

ニ. 静岡労働局と意見交換会（令和5年8月3日）を開催した。 9名

ホ. 静岡県地域両立支援推進チーム連絡会議（令和5年10月20日）に参加した。 1名

ヘ. 働きやすい職場づくり推進公労使協議会（令和6年2月28日）に参加した。 1名

(2) 日本年金機構関係

イ. 健康保険及び厚生年金保険の未適用事業所の適用促進業務を推進した。

ロ. 法改正等について会員へ周知した。

ハ. 各種届出の申請に対する指導を行った。

ニ. 地域年金事業運営調整会議委員を推薦した。 1名

ホ. 代表年金事務所との2者会議（令和5年8月21日、令和6年1月19日）を行った。

(3) 全国健康保険協会関係

- イ. 法改正等について会員へ周知した。
- ロ. 各種届出の申請に対する指導を行った。

(4) 静岡県関係

静岡県からの要請に基づき、会員を推薦した。

- ・ 中小企業労働施策アドバイザー（経済産業部） 1名
- ・ 労働法セミナー講師（経済産業部） 1名
- ・ しずおか男女共同参画推進会議全体会委員及び部会委員（くらし・環境部） 2名
- ・ ふじのくに医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員（地域医療課） 1名
- ・ 医療労務アドバイザー（地域医療課） 12名

(5) 静岡地方裁判所関係

静岡地方裁判所からの要請に基づき、会員を推薦した。

- ・ 静岡地方裁判所委員会委員 1名
- ・ 沼津簡易裁判所民事調停委員 1名
- ・ 清水簡易裁判所民事調停委員 2名
- ・ 掛川簡易裁判所民事調停委員 1名

(6) 関係団体の会議等

- | | | | |
|------|-------|------------------|-----|
| 令和5年 | 5月18日 | 静岡県行政書士会総会 | 1名 |
| | 5月26日 | 静岡県土地家屋調査士会総会 | 1名 |
| | 5月27日 | 静岡県司法書士会総会 | 1名 |
| | 5月30日 | 静岡県宅地建物取引業協会総会 | 1名 |
| | 6月28日 | 東海税理士会総会 | 1名 |
| | 7月11日 | 静岡県士業種連絡交流会 | 3名 |
| | 7月14日 | 静岡県専門事業者団体連絡協議会 | 3名 |
| | 8月25日 | 静岡県災害対策士業連絡会理事会 | 2名 |
| 令和6年 | 1月11日 | 連合静岡賀詞交歓会 | 1名 |
| | 1月26日 | 静岡県行政書士会賀詞交歓会 | 1名 |
| | 1月30日 | 静岡県士業種連絡交流会 | 2名 |
| | 2月19日 | 連合静岡との連絡協議会 | 11名 |
| | 3月12日 | 第4回神奈川会・静岡会連絡交流会 | 7名 |

(7) その他

公的機関等の要請に基づき、会員を推薦した。

- ・ 浜松まちづくり公社監事 1名
- ・ 静岡市女性活躍推進協議会委員 1名

会 組 織 の 推 移

3月31日を基準に、令和4年度、令和5年度を対比した実質増減数

(単位:人)

三島	－4	沼津	0	富士	1	清水	－1
静岡	0	島田	－1	磐田	－5	浜松	12

区 分		4年度 (人)	5年度 (人)	増 減
入 会		52	39	－13
退 会		42	37	－5
登 録		45	35	－10
会 員 数	開 業	606	599	－7
	法人社員	152	158	6
	非 開 業	320	323	3
	計	1,078	1,080	2
社会保険労務士法人(件)		107	111	4

組 織 現 勢

令和 6年 3月 31日 現在

①開業 ②非開業 ③法人の社員

年度 支部	開業		法人社員		非開業		計		増減	増 減 内 容								社会保険労務士法人	
	4年度 (人)	5年度 (14)	4年度 (8)	5年度 (8)	4年度 (2)	5年度 (2)	4年度 (24)	5年度 (24)		入会 (人)	退会 (人)	①→② (人)	②→③ (人)	③→④ (人)	④→⑤ (人)	⑤→⑥ (人)	⑥→⑦ (人)	4年度	5年度
三 島 (特定社労士)	47 (14)	45 (14)	19 (8)	21 (8)	32 (2)	28 (2)	98 (24)	94 (24)	-4 0	3	7	1	1	1			1	15	16
沼 津 (特定社労士)	47 (15)	45 (14)	14 (6)	14 (5)	17 (1)	19 (2)	78 (22)	78 (21)	0 -1	1	2	1			1		2	10	11
富 士 (特定社労士)	55 (14)	55 (14)	14 (9)	13 (9)	26 (8)	28 (8)	95 (31)	96 (31)	1 0	3	1		1				1	10	10
清 水 (特定社労士)	39 (14)	38 (13)	5 (4)	5 (4)	16 (3)	16 (2)	60 (21)	59 (19)	-1 2	1	3					2		4	4
静 岡 (特定社労士)	122 (54)	125 (54)	25 (13)	24 (14)	82 (11)	80 (11)	229 (78)	229 (79)	0 (1)	9	6		2	1	1		3	17	15
島 田 (特定社労士)	54 (18)	51 (17)	16 (6)	16 (7)	31 (7)	33 (6)	101 (31)	100 (30)	-1 -1	3	4		1			1		13	14
磐 田 (特定社労士)	64 (22)	63 (23)	10 (4)	10 (4)	25 (4)	21 (4)	99 (30)	94 (31)	-5 (1)	1	5		1				1	5	5
浜 松 (特定社労士)	178 (57)	177 (60)	49 (24)	55 (26)	91 (16)	98 (17)	318 (97)	330 (103)	12 (6)	18	9	2	5	2	1	1	2	33	36
合 計	606 (208)	599 (209)	152 (74)	158 (77)	320 (52)	323 (52)	1078 (334)	1080 (338)	2 4	39	37	4	7	9	4	3	7	107	111

機 関 の 活 動

会 議 名	開 催 日	出席者数	審 議 事 項 等
通 常 総 会	5. 5. 12 (うち委任状)	724 590	・令和4年度事業実施報告 ・決算報告書 ・監事の補欠選任 ・令和5年度事業計画案 ・収入支出予算案 ・会則変更
理 事 会	5. 4. 14	39	・過年度税申告業務 ・議事録PDF化 ・会長、理事候補の付議 ・令和5年度予算案 ・総会議案書 ・議事運営委員の承認 ・令和5年度通常総会の運営
	5. 5. 18	39	・会長推薦副会長 ・行政への挨拶 ・中地協定例会 ・委員長、部会長の選任
	5. 7. 13	40	・DX研修 ・リスティング広告の中断 ・Webex契約更新 ・欠席者の議決権 ・県会あるべき姿プロジェクト設置
	5. 9. 14	40	・会費納入案内のメール化 ・綱紀案件弁明 ・電子申請サポート動画 ・グラウンドゴルフ大会の開催 ・バナースタンド購入
	5. 12. 15	39	・規定改定 ・eラーニング研修 ・綱紀案件弁明 ・HP改修次年度持ち越し ・HP特別会計導入 ・ラジオ広告
	6. 3. 14	40	・年金相談センターの相談員配置 ・能登半島地震被災会への支援 ・委員会運営細則改定 ・相談員及び講師に支給する報酬等の基準
常 任 理 事 会	5. 4. 7	13	・過年度税申告業務 ・議事録PDF化 ・会長、理事候補の付議 ・議事運営委員の承認 ・令和5年度予算案 ・総会議案書
	5. 5. 18	13	・会長推薦副会長 ・行政への挨拶 ・中地協定例会
	5. 6. 1	13	・HPプロジェクトの設置 ・チャットワーク利用 ・ボウリング大会開催
	5. 7. 6	12	・令和5年度必修研修 ・グラウンドゴルフ大会の開催 ・DX研修 ・リスティング広告の中断 ・Webex契約更新 ・県会あるべき姿プロジェクト設置
	5. 8. 3	13	・Vimeo導入 ・令和5年度新入会員研修会 ・事務局働きがいプロジェクト ・会費納入案内のメール化 ・令和5年度年金相談員研修会
	5. 9. 4	13	・年金相談員研修 ・バナースタンド購入 ・eラーニング ・電子申請サポート動画配信
	5. 10. 5	13	・規程改定 ・旅費、日当の支払期日 ・PC環境 ・グラウンドゴルフ大会
	5. 11. 2	13	・令和5年度新入会員研修会 ・令和5年度労働相談員基礎研修 ・チャットワーク契約更新 ・相談員、講師報酬基準
	5. 12. 7	13	・規程改定 ・HP更改 ・eラーニング ・ラジオ広告
	6. 1. 11	12	・規程改定 ・出前授業講師研修会 ・災害連絡カード
	6. 2. 1	13	・委員会運営細則改訂 ・出前授業研修 ・ラジオCM ・令和6年度特別研修会 ・旅費日当支払方法の改善 ・令和6年度総会議案書、予算 ・組織体制の見直し ・HP改修費用特別会計
	6. 3. 7	13	・規程改定 ・ボウリング大会の実施 ・令和6年度表彰対象者 ・ホームページ改修費用特別会計の設置 ・年金相談センターの相談員配置 ・能登半島地震被災会への支援

機 関 の 活 動

会 議 名	開 催 日	出席者数	審 議 事 項 等
三 役 会	5. 4. 7	9	・事務局職員の昇給
	5. 4. 14	9	・事務局職員の昇給
	5. 5. 18	9	・三役の役割
	5. 6. 1	8	・会議時間の設定
	5. 7. 6	9	・常任理事会の決め事 ・事務局人事
	5. 8. 3	9	・総合労働相談所関連 ・会議の議事進行関連
	5. 9. 4	9	・委員会等の進捗状況と下期スケジュール ・55周年記念表彰 ・労働相談センターにおける録画利用 ・綱紀委員会答申
	5. 10. 5	9	・所掌委員会、部会等の進捗状況
	5. 11. 2	9	・所掌委員会、部会等の進捗状況 ・55周年表彰
	5. 12. 7	9	・担当事業報告 ・プロジェクト報告 ・事務局報告
	6. 1. 11	8	・進捗状況報告 ・議案表決までの流れ ・中期的な事業計画
	6. 2. 1	8	・進捗状況報告 ・事務局人事 ・令和6年度通常総会
	6. 3. 7	7	・進捗状況報告 ・事務局人事 ・支部長会 ・令和6年度通常総会
支 部 長 会			
監 査 会	5. 4. 11	4	・令和4年度会計監査、会務監査
	5. 10. 31	6	・令和5年度前期会計監査
	5. 12. 15	9	・令和5年度前期会務監査
総 務 委 員 会	6. 1. 29	11	・各部会状況 ・次年度計画、予算
	6. 3. 26	8	・令和6年度の進め方 ・報告書と議案書の改定
総 務 部 会	5. 6. 14	10	・事業計画 ・議決権行使
	5. 9. 8	7	・ハラスメント防止規程 ・報酬等の規程改訂
	5. 11. 16	7	・経理規程改訂 ・ハラスメント防止規程
	6. 1. 30	7	・ハラスメント規程整備 ・ハラスメント対応マニュアル修正
財 務 部 会	5. 4. 7	3	・令和4年度決算 ・令和5年度予算案
	5. 7. 27	5	・令和4年度予算執行状況 ・会費滞納者対応
	5. 9. 14	5	・会費滞納者確認 ・予算執行状況確認 ・会費案内発出見直し
	6. 1. 24	5	・会費滞納者確認 ・予算執行状況確認 ・HP改修費用特別会計
	6. 2. 14	5	・会費滞納者確認 ・予算執行状況確認 ・令和6年度予算案確認
厚 生 部 会	5. 6. 2	5	・ボウリング大会 ・グラウンドゴルフ大会
	5. 7. 19	4	・ボウリング大会 ・グラウンドゴルフ大会
	5. 11. 7	5	・グラウンドゴルフ大会
	6. 2. 15	4	・次年度ボウリング大会 ・次年度事業計画
広 報 委 員 会	5. 6. 9	7	・ホームページプロジェクト ・デジタル部会未所属支部
	5. 10. 19	6	・チャットワーク契約更新 ・ML未登録者対応 ・不適切情報発信ホームページ対応
デ ジ タ ル 部 会	5. 6. 13	5	・ホームページプロジェクト ・事業報告 ・事業計画
	5. 8. 18	5	・緊急セキュリティ研修
	5. 9. 20	5	・電子申請質問箱 ・電子申請動画 ・サイバーセキュリティ研修
	5. 11. 17	5	・電子申請動画 ・サイバーセキュリティ研修 ・来年度事業計画
広 報 部 会	5. 6. 9	10	・Google広告 ・会報しずおか
	5. 8. 2	9	・出前授業講師研修 ・バナースタンド購入 ・会報しずおか
	5. 8. 22	7	・第3回広報部会
	5. 10. 19	2	・第4回広報部会
	6. 1. 18	8	・第5回広報部会

機 関 の 活 動

会 議 名	開 催 日	出席者数	審 議 事 項 等
業 務 委 員 会	5. 1 0. 1 1	1 0	・報酬等見直し ・国交省との連携事業
業 務 研 究 部 会	5. 6. 1 2	1 0	・事業計画
	5. 8. 2 9	9	・労働条件審査 ・社労士診断認証制度
	5. 1 0. 3	7	・労働条件審査
	5. 1 1. 1	1 0	・労働条件審査 ・委託業務の見積り
	5. 1 1. 2 9	4	(打合せ) ・静岡県経営管理部
	5. 1 2. 1 1	8	・労働条件審査 ・事業報告 ・来年度事業計画
	6. 2. 7	9	・労働条件審査 ・委託業務の見積り額 ・作業メンバー
	6. 3. 4	4	(打合せ) ・労働条件審査
研 修 部 会	6. 3. 1 9	4	(打合せ) ・労働条件審査
	5. 6. 5	1 1	・研修計画 ・必須研修会 ・研修日程
	5. 6. 1 9	9	・必須研修会 ・特別研修会 ・特別研修会
	5. 8. 2 8	1 0	・動画配信 ・研修実施方法
	5. 1 0. 1 2	8	・必須研修会 ・研修実施方法
非 常 時 災 害 対 策 委 員 会	6. 1. 1 7	1 0	・来年度研修実施計画 ・新入会員研修会
	5. 6. 8	6	・委員長、副委員長選出
	5. 6. 1 5	8	・委員長、副委員長選出
	5. 8. 1	6	・災害連絡カード
	6. 1. 9	7	・災害連絡カード
苦 情 処 理 調 整 委 員 会	6. 2. 1 4	8	・災害連絡カード
	5. 6. 8	3	・委員長、副委員長選出
綱 紀 委 員 会	5. 6. 8	9	・委員長、副委員長選出
	5. 8. 7	8	・諮問
	5. 1 2. 4	7	・諮問
業 務 監 察 委 員 会	5. 6. 8	1 0	・委員長、副委員長選出
総 合 労 働 相 談 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	5. 6. 1 3	3	・センター事業計画、労働相談員登録基準
	5. 7. 2 7	3	・労働相談会の現状と課題、評価細目の検討
	5. 9. 1 2	3	・相談員登録説明会の準備、ホームページ内容検討
	5. 9. 2 6	7	・相談員支部長推薦の準備、運営委員の選任
	5. 1 0. 3	7	・相談員登録説明会の最終確認、基礎研修会内容検討
	5. 1 2. 1 2	7	・労働相談員研修会の役割分担、評価方法策定
	6. 2. 1 4	7	・労働相談員研修会振返り、次年度事業計画
	6. 3. 1 8	7	・労働相談員選任登録、運営委員役割分担
社 労 士 会 労 働 紛 争 解 決 セ ン タ ー 静 岡 運 営 委 員 会	5. 5. 1 9	8	・初顔合わせ、年間業務計画策定
	5. 7. 6	8	・基礎研修会準備、事務職員の職務
	5. 8. 3 1	8	・基礎研修会役割分担
	5. 1 0. 2 0	8	・実務研修会実施
	6. 3. 6	8	・次年度事業計画、ADR法改正への対応

機 関 の 活 動

会 議 名	開 催 日	出席者数	審 議 事 項 等
年 金 相 談 セ ン タ ー	5. 7. 2 6	5	・ 重点活動 ・ 相談員研修 ・ 県立こども病院相談会
年 金 相 談 に 係 る 運 営 委 員 会	5. 6. 1	8	・ 現状の課題と今後
	5. 9. 4	1 0	・ 次年度配置ブース数 ・ 支部交付金 ・ 研修会 ・ インボイス
	5. 1 2. 4	7	・ 相談員選出報告書 ・ 年金相談員研修 ・ 年金相談センター
	6. 3. 1 4	8	・ 年金事務所契約ブース数 ・ 街角年金センター職員契約 ・ 事務 処理誤り ・ 県会独自相談会 ・ 年金相談員研修
神 奈 川 静 岡 連 絡 交 流 会	6. 3. 1 2	7	・ 広報について ・ その他意見交換
県 会 あ る べ き 姿 P J T	5. 8. 7	5	・ 定例打合せ
	5. 9. 6	5	・ 定例打合せ
	5. 9. 7	4	・ インタビュー
	5. 9. 9	2	・ インタビュー
	5. 9. 1 5	5	・ 定例打合せ
	5. 1 0. 2 3	5	・ 定例打合せ
	5. 1 1. 1 0	5	・ 理事説明会
	5. 1 1. 1 3	4	・ 理事説明会
事 務 局 働 き が い P J T	5. 7. 2 0	5	・ 定例打合せ
	5. 8. 3	4	・ 定例打合せ
	5. 8. 2 4	3	・ 定例打合せ
	5. 9. 6	3	・ 事務局意見交換会
	5. 9. 2 1	5	・ 定例打合せ
	5. 1 0. 3 1	5	・ 定例打合せ
	5. 1 1. 2 2	5	・ 定例打合せ
	6. 2. 2 0	5	・ 定例打合せ
ホ ー ム ペ ー ジ P J T	6. 3. 2 9	7	・ 定例打合せ
	5. 8. 1 8	9	・ 定例打合せ（提案依頼書作成）
	5. 9. 2 0	5	・ 定例打合せ（提案依頼書作成）
	5. 1 0. 2 5	5	・ コンペ参加業者からプレゼンを受ける
	6. 1. 1 7	3	・ コンサル契約事前打ち合わせ
	6. 1. 2 9	5	・ ITコンサルタントより具体的なコンサル内容の説明
	6. 3. 4	3	・ ITコンサルタントと事務局業務の詳細分析

広 報 活 動

摘 要	実施日等	実 施 事 項 等
W E B 広 告	5. 4 月～7 月	・ Google、Yahoo両検索エンジンにW E B 広告を掲載
広 報 資 材 購 入	5. 1 0 月	・ イージーウォール及びバナースタンド購入、相談会ブース等に設置
出 前 授 業 案 内	5. 1 2 月	・ 県内各高等学校他関係機関に出前授業案内文書送付
ラ ジ オ 広 告	6. 3 月	・ 静岡FM放送（K－M I X）にて2 0 秒CM放送（パブリシティ番組に会長出演）
会 報 し ず お か （ワードプレス版）	随時	・ 専門部会報告 ・ 総会、支部総会報告 ・ 会長挨拶 ・ 静岡労働局との連絡会 ・ 支部研修会 ・ 支部厚生事業報告 ・ てじやく倶楽部 ・ 出前事業、体験記 ・ 新年の挨拶（会長、静岡労働局長、静岡年金事務所長） ・ あるべき姿PJT報告他

研 修 会 等

研 修 会 名	開 催 日	参加者数	内 容
特 別 研 修 会	5. 6. 1～30 (動画配信) 5. 7. 12～31 (動画再配信)	274	「労働トラブルによる裁判例を踏まえた労務関係書式の作り方 とその考え方」 講師 寺前総合法律事務所 弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行 氏
D X 研 修 会	5. 8. 1～31 (動画配信) 6. 2. 1～ (配信) 3. 15 6. 2. 21～ (動画配信)	82 94 配信中	「社会保険労務士事務所のためのセキュリティ対策」 講師 合同会社P P A P総研 代表社員 大泰司 章 氏 「サイバーセキュリティeラーニング研修」 (株) エヴァアビエーション 電子申請講座(特開金、36協定) 講師 静岡支部 高橋 真由美 氏
必 須 研 修 会	5. 11. 1～30 (動画配信)	354	「社労士として知っておきたい『2024年問題』が物流業界全体 に与える影響」 講師 社会保険労務士・行政書士 栗田 和博 氏
労 働 相 談 員 基 礎 研 修 会	6. 1. 20	32	ロールプレイ、ワークショップ 他 「労働相談におけるプライバシー権への配慮について」 講師 共和法律事務所 弁護士 松田 康太郎 氏
倫 理 研 修 会	6. 2. 1 ～3. 31 (eラーニング)	256	「倫理研修実施の意義等について」 「社労士に求められる職業倫理の解説」 「事例(設例問題)の解説」
新 入 会 員 指 導 研 修 会	6. 2. 16 6. 2. 17	39 42	・新入会員指導要項他 講師 県会役員 ・各種届出等実務研修 講師 関係行政機関担当官 他
あっせん基礎研修会	5. 8. 31	20	・あっせん関連規程 ・あっせんマニュアル
あっせん実務研修会	5. 10. 20	18	・ロールプレイ ・あっせん関係法令について
年 金 相 談 員 指 定 研 修 会	6. 2. 16 ～3. 31 (動画配信)	64	「年金相談センター事業について」 講師 沼津支部 本間 康典 氏 「行政協力における間違いやすい事案」 講師 静岡支部 高林 伸行 氏 障害年金基礎「社会的治癒について」「就労について」 講師 東京会 松山 純子 氏 「相談員としての話し方講座」 講師 MC/ナレーター 千野 真紀 氏

中部地域協議会主催研修会

研 修 会 名	開 催 日	参加者数	内 容
労 務 管 理 研 修 会	5. 1 0. 2 6 5. 1 2. 1 9 ～6. 3. 3 1 (動画配信)	2 1 4 4	「シニア人材の戦力化と人事管理 ～シニア人材を活かす人事管理とその基礎理論」 学習院大学名誉教授 今野浩一郎 氏
東海４県特別研修会	6. 2. 1 6 6. 3. 1 ～6. 5. 3 1 (動画配信)	1 5 配信中	「ジョブ型雇用と労働市場改革」 独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT） 労働政策研究所長 濱口 桂一郎 氏 1. ジョブ型が「また」流行っている 2. 就職と採用をめぐる諸問題 3. 賃金をめぐる諸問題 4. 賃上げと労使関係をめぐる諸問題 5. 解雇をめぐる諸問題 6. 定年「退職」と継続雇用の逆説 7. 残業代と心身の健康のはざま
北 陸 ３ 県 特 別 研 修 会	6. 3. 1 6. 4. 1 ～6. 6. 3 0 (動画配信)	3 配信中	「地方における労働紛争のリアル」 講師 弁護士法人クオリティ・ワン 小倉 悠治 氏

スポーツ・レクリエーション活動

行 事 名	開 催 日	参加者数	場 所
第２６回 ボウリング大会	5. 7. 2 9	8 9	プラザアピア静岡
第２６回 グラウンドゴルフ大会	5. 1 1. 1 1	9 0	藤枝総合運動公園

受 託 協 力 事 業

事 業 名	期 間	対 象	事 業 内 容
街角の年金相談センター	5. 4. 1 ～6. 3 月末	年 金 加入者等	年金相談センター（沼津・静岡および浜松オフィス） の業務運営
（日本年金機構） 年金事務所棟における 年金相談窓口等の運営	5. 4. 1 ～6. 3 月末	年 金 加入者等	年金事務所における年金相談窓口 （９年金事務所等）
第５５回 社会保険労務士試験	5. 8. 2 7	静岡会場 受 験 者	受験申込 1, 2 2 8 人 受 験 者 9 8 8 人

